

第4回 昭島市気候市民会議報告書

1. 昭島市気候市民会議の目的

市民が気候変動を自らの課題として主体的に考え、対話を重ねる場を創出するとともに、そこで得られた意見提案を、令和8年度に中間見直しを予定している昭島市環境基本計画へ反映することを目的とする。

また、議論の結果を意見提案書としてとりまとめるとともに、意見提案書には2030年カーボンハーフ及び2050年カーボンニュートラルに向けたロードマップを掲載する。

2. 第4回昭島市気候市民会議の目的

第1回～第3回の結果を踏まえて、緩和策・適応策を併せた意見提案書（案）を事務局より提示する。

参加者には、意見提案書（案）にこれまでの結果が十分に反映されているかを精査いただき、必要な修正を加えた意見提案書を作成いただく。

3. 開催概要

日時	令和8年7月20日（月・祝） 午後1時～午後4時
会場	昭島市役所1階市民ホール
参加者	市民 13名（無作為抽出により選定された市民1,500名のうち、応募のあった市民）
スタッフ	・昭島市職員 5名 ・エヌエス環境(株)職員 6名
グループワーク テーマ	・意見提案書の作成
テーブル別 テーマ	A：【エネルギーを減らす・つくる】【自然環境を守る】 B：【車移動を減らす・かしこく使う】【まちのしくみを支える（インフラ・公共施設）】 C：【ごみにしない・減らす】【災害に備える・乗り越える】 D：【行動を変える、取組に参加・協働する】【健康・生活を守る】

4. 当日の流れ

12：30～	受付開始
13：00～	これまでの振り返り
13：10～	意見提案書（案）について
13：15～	グループワークの説明
13：20～	グループワーク（緩和策について）
14：00～	休憩
14：05～	グループワーク（適応策について）
14：45～	グループ発表に向けた整理
15：00～	意見提案書の共有（グループ発表）
15：25～	休憩
15：35～	臼井市長へ意見提案書の提出
15：40～	臼井市長のご挨拶
15：45～	記念撮影
15：55～	打ち水

5. 開催風景



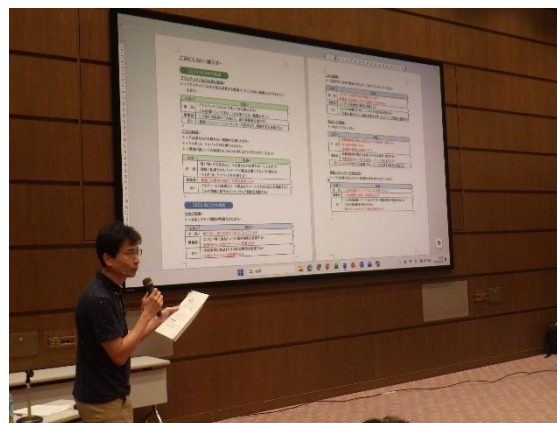
昭島市環境部 長谷川係長からのご挨拶



グループワークの様子1



グループワークの様子2



グループ発表の様子



臼井市長への意見提案書の提出



打ち水の様子

6. グループワークの結果

【Aグループ】

Aグループでは、「エネルギーを減らす・つくる」という緩和策と、「自然環境を守る」という適応策のテーマで発表が行われた。

太陽光パネルの効果を示すことによる市民のエネルギー意識向上や、省エネ設備の選び方などを積極的に学ぶことが提案されている。2050 年に向けては、太陽光発電などを導入してエネルギーを自給自足できる建物を増やし、地産地消を進めるとしている。自然環境の面では、湧き水の保全や雨水の利用、外来種ペットを最後まで管理する意識付けと市による引き取り、在来種を守るための河川の水質改善なども挙げられた。

【Bグループ】

Bグループでは、「車移動を減らす・かしこく使う」という緩和策と、「まちのしくみを支える（インフラ・公共施設）」という適応策のテーマで発表した。

交通面では、バスの増便や自動運転バスの導入、免許返納後の乗り放題制度、貸し自転車の拡充やAIを活用した混雑状況の把握などが提案された。インフラや公共施設については、透水性舗装の導入や打ち水の実践、新築への太陽光パネル設置義務化のほか、事業所を避難場所として活用するなど、災害時に安心できる公共施設の整備が挙げられた。

【Cグループ】

Cグループでは、「ごみにしない・減らす」という緩和策と、「災害に備える・乗り越える」という適応策のテーマで発表した。

ごみ関連では、事業用指定ゴミ袋の導入やコンポストの浸透、子ども食堂への寄付や冷蔵庫の定期的な整理による食品ロス削減、ごみ排出量の定期的な可視化が提案された。災害対策としては、事業者による土のうや飲料水の備蓄、近隣自治体と合同での夏と冬の避難訓練の実施、雨水浸透マスの活用、インフラに頼らないオフグリッド設備の推進などが挙げられた。

【Dグループ】

Dグループでは、「行動を変える、取り組みに参加・協働する」という緩和策と、「健康・生活を守る」という適応策をテーマに発表した。

参加・協働に向けては、駅前など人が集まる場所で芸能人やアイドルを呼んだ環境イベントを開催し、関心を高めることが提案された。健康や生活の面では、高齢者宅への訪問や宅配を通じた見守り、子どもの水分補給の徹底、エコな空調システム（ミストコレクター等）の導入、汗をかく運動の推奨、暑さに強い品種のお米や保存状態を良くする冷蔵庫の開発などが挙げられた。

8. 気候市民会議に参加した感想

第4回 昭島市気候市民会議に出席された参加者13名より、気候市民会議に参加した感想をいただいた。

知見が深まりました。自分一人だけでは解決出来ないことだらけですが、逆に自分1人が出来ることを一生懸命にやり、事業者、市にも役割を担ってもらうことの重要性を認識しました。このような場をご提供いただき、ありがとうございました！
最初は3時間の会議を長いと思いましたが、皆様と話し合っていると、あっという間に終了となるくらい楽しいものとなりました。現在の市の取組に関しては認識不足もあり、既に取り組まれていることもあったと思います。この気候市民会議に参加して、確実に地球環境への意識が高まったので、今後もより多くの市民にこういう機会が与えられることを祈念します。
このような機会をいただいて、とても楽しく勉強させていただきました。はじめは不安でちゃんと話が出るのか心配でしたが2回、3回と参加するに従いどんどん楽しくなって、今日4回目になりもうこれで終わりなんだと思ったら淋しい感じがしています。
環境について自分目線のみならず、市（公共）や事業所目線を考える機会になったことで、視野を拡げることができて良かった！！
今現在、自分自身が知っていることを基に話し合いをしました。色々と話しながら絵空事になりそうだと思いながら、気候のこと、昭島市のことを考えるきっかけになりました。これからもこんな機会を設けていただけると、市民の意識の高まりに繋がるのではないかと思います。
気候市民会議を通じて、昭島市に住む皆様と具体的な気候に関する意見交換ができました。
色々な方と話し合うことで、自分では全く思いつかない視点等、たくさん聞けて勉強になりました。
気候で生活が変化していきます。理解して行動しないと、何も変わらない。まずは、自分から意思を持ち、周りの人に話をしていきたいと思います。貴重な時間 ありがとうございました。
環境についての昭島市民として振り返る事ができました。意識が高まりました。水が良い昭島に来て良かったです。
4日間ありがとうございました。環境について、自分たちの市について考えるきっかけになりました。また、同じように昭島について考える市民が（世代も年齢も様々な人が）いると知れて有意義な一日でした。
短い期間でしたが勉強になりました。有難うございました。2050年に昭島市がゼロカーボンシティのモデルの市に成っている事を願っています。いつまでも水がキレイな市になって欲しいです。

グループディスカッションや前に立っての発表を通して個人的に成長ができたと思う。
新しい知識や環境のための取組を多く学べたので自分も周りに伝えていきたい。

充実した4回でした。世代間をまたいで意見交換をする機会は楽しくなかなか面白く良い経験でした。昭島に長く住んでいますが、このように考えたり、色々な意見に触れられたりしたことは、これからも昭島に住まう者として意識変化や大事にしていかなくてはいけない物や事に気づきました。良い機会を与えてくださりありがとうございました。昭島を大切にしていきたいです。